

交通アクセス [札幌駅から]

- ◆地下鉄東豊線「北13条東」駅1番出口より東へ徒歩3分
- ◆地下鉄南北線「北12条」駅2番出口より東へ徒歩15分
- ◆北口からタクシーで5分

[新千歳空港から]

- ◆JRで札幌駅まで37分

[札幌丘珠空港から]

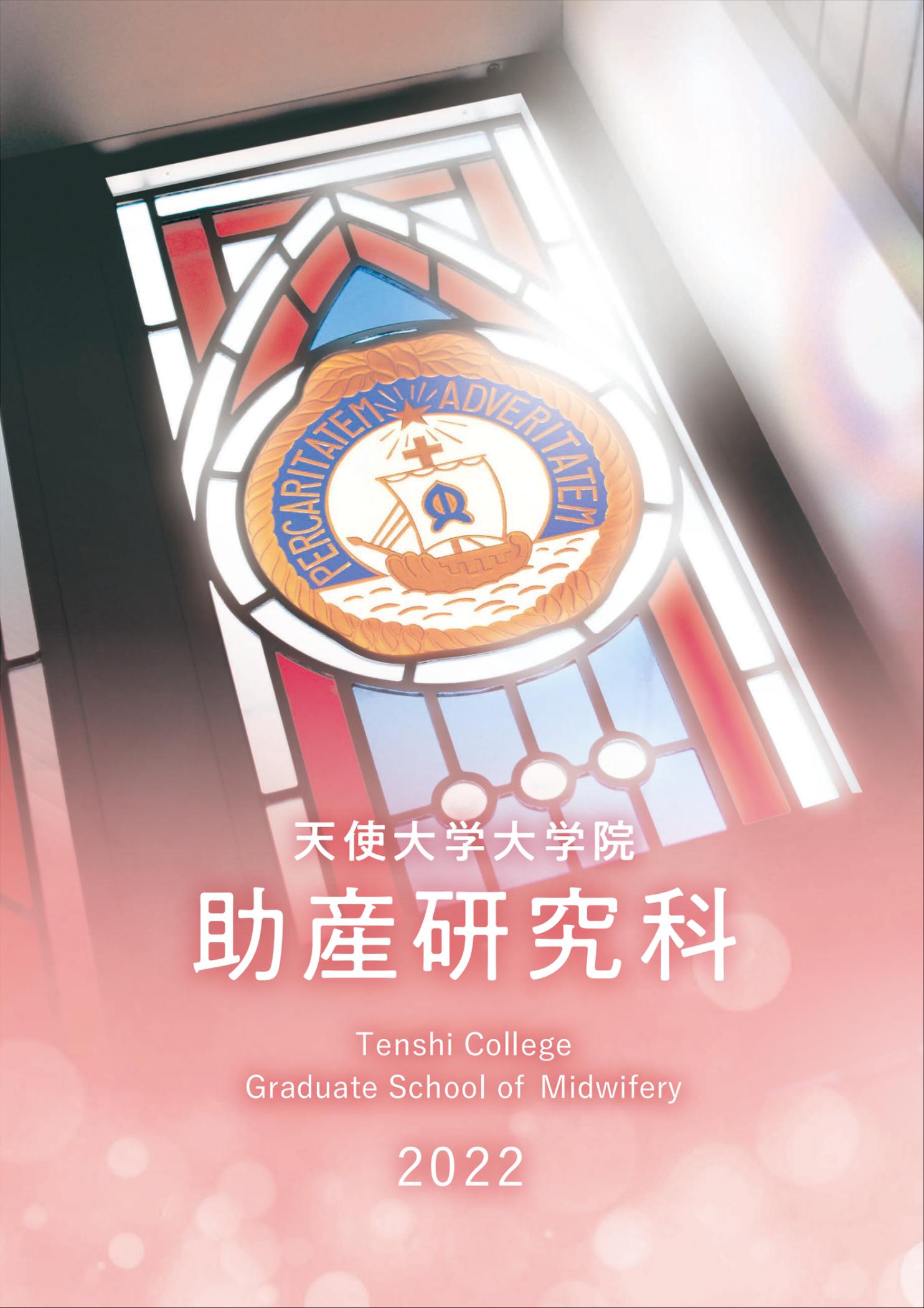
- ◆バスで札幌駅まで25分



看護栄養学部 / 看護学科・栄養学科
 大学院 / 助産研究科 助産専攻(専門職学位課程)
 看護栄養学研究科 看護学専攻
 栄養管理学専攻

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30
 TEL.011-741-1051(代)   
 FAX.011-741-1077(代)

www.tenshi.ac.jp



天使大学大学院 助産研究科

Tenshi College
Graduate School of Midwifery

2022

質・量ともに充実した実習。体系的に深く学べる講義。
日本で唯一の実践に強い助産師のための専門職大学院です。

助産研究科

助産専攻(専門職学位課程)

助産師を育成する助産基礎分野 | 助産教育者を育成する助産教育分野

天竺大学大学院助産研究科は、カトリックの教育機関として「愛をとおして真理へ」を建学の理念とし、キリスト教的人間観、価値観および世界観に基づいて、専門職助産師を育成しています。

「助産師教育における将来ビジョン2015」を充足する教育

| | |
|-------|-------------------------------|
| ビジョン① | 助産師教育期間は、看護基礎教育の基盤の上に2年とする。 |
| ビジョン② | 学生の実践能力を向上できる実習環境を確保する。 |
| ビジョン③ | 助産師教育の質保証に貢献できる教育者の能力向上を促進する。 |

本学では、全国助産師教育協議会が策定した上記3つの「将来ビジョン」を満たすカリキュラムを2008年以降すでに編成しており、充実した実習で「理論」と「実践」をつなぐ教育を行っています。

また、助産専門職大学院として、助産領域の分野別認証評価「適合」を、2009年・2014年・2019年に日本助産評価機構から受けています。



教育課程の特色

- 少人数制、院生と教員による双方向教育
- 実践例に基づく教育
- メンターシップ^{※1}とプリセプターシップ^{※2}による教育

※1 メンターシップ: メンターとは「よき助言者」の意味。担当教員が数名の院生を入学から修了まで継続して受け持ち、深く関わることで院生の成長をサポートし、学習・生活に関する相談役を引き受けます。(担当: 専任教員)

※2 プリセプターシップ: プリセプターとは、実習期間中に、実践の場で指導者として助産師の役割モデルとなり、実習中の院生が助産師として成長できるよう、主として臨床に関する相談を受け持ちます。(担当: 臨床指導者・実習指導教員・臨床専任教員・専任教員)

専門職大学院とは

2003年度に創設された大学院制度です。「研究者の養成」に重点がおかれる従来の大学院とは異なり、専門職大学院では「高度で専門的な職業能力を持った実務家の養成」に特化した教育を行います。

天竺大学では、わが国の母子保健水準に対応する高いレベルの助産実践に備え、助産教育は大学院で行うこととし、2004年に日本初の助産専門職大学院である助産研究科を開設しました。

専門職大学院の課程を修了すると授与される学位は専門職学位とされ、本研究科を修了すると「助産修士(専門職)」が授与されます。

教育目標

- (1) 女性に優しい自然出産を自律して医療機関や地域で実践するために、正常経過の診断およびケア、正常からの逸脱の判断およびケアができる能力の育成
- (2) 科学的根拠の明らかにされている手段を、ケアの質の向上に応用する力の育成
- (3) 助産管理ならびに助産師教育の仕組みの理解、助産チームおよび多職種との連携・調整能力の育成
- (4) 子育て支援について助産師の役割を明確化し、具体的な援助が行える、また、子育てに関わる他領域の専門家の役割を理解し、ネットワークづくりを実践する基礎的能力の育成
- (5) 性と生殖に関する倫理を踏まえ、思春期を中心とした性教育プログラムを開発し、性の健康相談を実践する基礎的能力の育成
- (6) ライフステージ各期の女性のリプロダクティブ・ヘルスの増進を図るために、相談、教育、援助活動を実践する基礎的能力の育成
- (7) 地域母子保健活動を多職種と連携・協働しながら主体的に実践する基本的能力、ならびに政策化のプロセスを理解できる基礎的能力の育成
- (8) 国内外の母子保健活動を理解し、グローバルな視野をもって発展途上国の助産活動に貢献する基礎的能力の育成
- (9) [助産教育分野]
 - 優れた助産師を育成するために、教育機関ならびに臨床現場において、助産師を目指す学修者に対して、以下の項目について基本的理解を醸成させ、教育・指導できる能力の育成

- 1 助産・看護における教育課程の編成・実施に関する計画の立案
- 2 教授・学修の理論を踏まえた教授学修法の展開
- 3 評価理論を踏まえた学修目標の達成の評価
- 4 教育機関の運営・評価についての基本的理解
- 5 理論に基づく学修を実践に向けて統合できる教育・指導
- 6 変動する社会のニーズに合わせた教育変革の推進

助産師の仕事は「女性の傍らにあって、生命を育み守ること」。

この職業を強い決意で選んだ方々に集まっていたきたいと願っています。



助産研究科長
津田 万寿美

高度専門職助産師の働く場は多様です。助産師には出産のみではなく、実際にはもっと深く広い役割が求められています。妊娠・出産・産褥期の女性や新生児のケアはもとより、思春期から中高年期にわたる女性のライフステージ全般の性と生殖、不妊や遺伝に関する健康教育・相談、カウンセリングなど、広い役割が期待されています。女性の多様な価値観を尊重し、それぞれの女性にとって「最良で快適な出産方法」を選択するために必要な情報を提供することもまた、重要な仕事となっています。

修了生は計344名。助産所の開業や勤務などの自律した助産活動、さらに発展途上国での活動など、多様な活動を展開しています。また、医療機関とその中の助産師外来や院内助産所など助産師が中心となり産褥期のケアを担う場でも活躍しています。

「助産教育分野」では、旧来の1年課程にはなかった、2年課程の中で体系化された“助産学”を、日常のさまざまな助産ケアの中の理論・根拠を含めてあらためて学び直します。その上で、教育者・指導者にとっての対象者である学生や新人などの“対象理解”の上に、個々の学生を教授する教育の諸理論を学びます。

助産教育分野の修了生の4割が大学院・大学などの教育機関で、4割が臨床現場で後輩助産師の育成にあたり、2割が管理職として、理論に基づいた質の高い助産ケアを教え伝える役割を果たしています。

教員の紹介

| 教員名 主な担当科目 | 専任教員 | 臨床専任教員 | 兼任教員 |
|---|--|--|------------------------------|
| 研究科長 津田 万寿美教授 出産の文化 助産カウンセリング 母子保健行政・財政論 国際助産学Ⅰ・Ⅱ | 中田 かおり教授 助産研究法 性教育Ⅰ・Ⅱ・実習 | 高室 典子教授 健康教育論Ⅰ 独立助産実践概論 独立助産演習 国際助産学実習 | 田畑 邦治教授 助産学概論 |
| 今崎 裕子教授 助産学 女性のフィジカルイグザミネーション ハイリスク助産学Ⅰ 子育て支援論Ⅰ・Ⅱ・演習 | 三浦 恵津子講師 健康教育論Ⅰ・Ⅱ 助産管理論Ⅰ ハイリスク助産学Ⅱ・演習 ウィメンズヘルスⅠ・Ⅱ・演習 | 宮下 美代子教授 マタニティサイクル独立助産実習 | 進藤 正信教授 女性のフィジカルイグザミネーション |
| 杉浦 恵子教授 助産学概論 助産哲学・倫理Ⅰ・Ⅱ 子育て支援論Ⅰ・Ⅱ・演習 | 長田 雅子助教 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ 性教育Ⅰ・Ⅱ・演習 | 山本 詩子教授 助産管理論Ⅱ マタニティサイクル独立助産実習 助産薬理学Ⅰ | 高木 廣文教授 助産研究法 |
| | 杉田 樹美助教 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ 産褥期乳幼児の栄養 | | 小原 琢准教授 助産哲学・倫理Ⅰ |
| | | | 目時 光紀准教授 国際助産学Ⅱ |

生まれるいのちを支える仕事
女性の生涯に寄り添う仕事

助産 基礎分野

〈修業年限〉2年
〈学位〉助産修士(専門職)
〈入学定員〉30名
〈取得資格〉助産師国家試験受験資格
〈修了に要する単位〉57単位

助産師の資格を取得すること、
および助産の専門職業人に必要な、高度な
助産実践の能力を修得するコースです。
看護師の資格を持つ方
(または取得見込みの方)が対象です。



5つの特長

1 助産所を含む、計20単位の実習

2年間で「20単位」の学外実習が用意されています。1年次の病院実習では専任教員に加え、実習指導教員を実習の場に配置。実習施設ごとに複数の教員が(必要時には)24時間体制でサポートし、実習時の宿泊費の補助なども行っています。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則(以下、指定規則)で「11単位」の「助産学実習」を、助産研究科では「20単位」で履修します。出産期(分娩介助)だけでなく、妊婦に対する妊婦健康診査、保健相談の妊娠期ケア、産褥新生児ケアについても、質・量ともに充実した実習を行うことができます。

[実習の取り扱い事例数]

| 内容 | 目標事例数 | 2019年度修了生平均 |
|--------------|-------|-------------|
| 妊婦健診・保健指導 | 15例以上 | 35例 |
| 出産期ケア・分娩介助 | 13例以上 | 12例 |
| 産褥・新生児期の母子ケア | 15例以上 | 16+4(家庭訪問)例 |
| 合計 | 43例以上 | 67例 |

2 助産師教育の世界基準(18カ月以上)を満たした、実践能力の育成を重視した2年の教育課程

国際助産師連盟(ICM)は、2011年の南アフリカ大会において、「助産師教育の世界基準」として看護教育修了後の助産師基礎教育の期間を「18カ月以上」とし、「実践能力」を重視することを採択しました。助産研究科の修業年限は「2年間(24カ月)」。また、専門職大学院として「実践能力を重視」したカリキュラムを組み、この世界基準を十分満たしていると言えます。

3 2年課程にしかできない、助産を深く丁寧に学ぶということ

指定規則では「31単位」を修得すれば助産師国家試験の受験資格が得られますが、助産研究科はその「約2倍」の「57単位」を修了要件としています。単位数が多い理由は、従来「助産学概論」に一括されている「倫理・国際・教育」といったテーマを「助産哲学・倫理」「国際助産学」「助産師教育論」としてそれぞれ深く学ぶためです。1年間の助産師教育課程では少ない時間で行っている内容を、助産研究科では丁寧に深く学修します。

4 先輩、院生にいつでも相談できる教育環境

助産研究科は、日本で唯一の「助産師養成のための専門職大学院」であると同時に、日本で唯一の「助産教育者のための養成機関」でもあります。「助産基礎分野」には、全国各地から助産師のエキスパートを目指す学生が集まり、「助産教育分野」には病院などの第一線で活躍してきた助産師が入学します。「助産基礎分野」の院生にとってそんな経験豊富な助産教育分野の院生は、「助産の現場」のことをいつでも聞くことができる存在であり、他にはない魅力です。また、2年課程である本研究科は、1年次の時は「先輩」がいて、実習や学習方法について気軽に相談できるのも心強いところです。

5 関心の強い分野に、一歩踏み出す

女性の生涯を通じた性と生殖の健康支援の担い手としての助産師の役割を学ぶため、2年次に「発展・展開科目」があり、学生は「子育て支援」「性教育」「ウィメンズヘルス」「国際助産」の4つのテーマから選択履修します。

カリキュラム

| 2年次 通年 | | 特別統合研究科目 | | | |
|--------|----|--|--|---------------------------|--|
| | | 特別統合課題研究 | | | |
| 2年次 | | 発展・展開科目 | | | |
| | | 子育て支援 | 性教育 | ウィメンズヘルス | 国際助産 |
| | | ■子育て支援論Ⅱ ■子育て支援論演習 | ■性教育Ⅱ ■性教育実習 | ■ウィメンズヘルスⅡ ■ウィメンズヘルス演習 | ■国際助産学Ⅱ ■国際助産学実習 |
| 2年次 | | 講義・演習科目 | | | 実習科目 |
| 2年次 | 後期 | ■助産師教育方法論 ■助産哲学・倫理Ⅱ | | | マタニティサイクル助産ケア 統合実習Ⅱ |
| | 前期 | 助産薬理学Ⅱ 健康教育論Ⅱ 助産管理論Ⅱ 助産師教育論 母子保健活動論(疫学・統計を含む) ハイリスク助産演習 | 独立助産実践概論 独立助産演習 性教育Ⅰ 国際助産学Ⅰ | | マタニティサイクル 独立助産実習 |
| 1年次 | 後期 | 助産哲学・倫理Ⅰ 助産カウンセリング 助産研究法 母子保健行政・財政論 助産管理論Ⅰ | ハイリスク助産学Ⅰ ハイリスク助産学Ⅱ 子育て支援論Ⅰ ウィメンズヘルスⅠ | | マタニティサイクル助産ケア 統合実習Ⅰ |
| | 前期 | 助産学概論 出産の文化 女性のフィジカルイグザミネーション 助産薬理学Ⅰ 妊産褥婦乳幼児の栄養 助産女性学 健康教育論Ⅰ | マタニティサイクル助産ケアⅠ マタニティサイクル助産ケアⅡ マタニティサイクル助産ケアⅢ | | マタニティサイクル助産ケア 基礎実習Ⅰ マタニティサイクル助産ケア 基礎実習Ⅱ マタニティサイクル助産ケア 基礎実習Ⅲ |

※■印は選択科目

年次教育計画(2019年度実績)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|---------------|----------------------|------------------------|------|-----------------|---------------|-------------------------|-------------------------|---------------|--------------------|-----------------|-------|
| 1年次 | 入学式・オリエンテーション | 学内学習 | マタニティサイクル助産ケア基礎実習(6単位) | 学内学習 | 補講・試験期間 夏期休暇 | 学内学習 | 学内学習 | マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ(6単位) | 冬期休暇 | マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ | 補講・試験期間 学内学習 | 年次末休暇 |
| 2年次 | 学内学習 | マタニティサイクル独立助産実習(6単位) | ハイリスク助産演習・健康教育論Ⅱ | 学内学習 | 補講・試験期間 夏期休暇 | 学内学習(発展・展開科目) | マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ(2単位) | 冬期休暇 | 学内学習(発展・展開科目) | 国家試験 | | 修了式 |

実習科目

専門職大学院ならではの充実した実習内容。
豊富な臨床経験と、それをフィードバックする学びの場が自律した助産師を育てます。

1年次前期 (6単位) マタニティサイクル 助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

基礎実習で、助産の基礎をしっかり身に付けます。

妊娠期、出産期、産褥・新生児期に分けて実習を行います。対象をよく理解した上で、それぞれの期に応じて必要な情報を提供する「保健相談」を計画、実施します。また、分娩介助や褥婦と新生児のケアを行い、助産における知識と技術の基本を学びます。

学内カンファレンスを行い、学びを深めます。

妊産褥婦のケアを立案し、実践する傍ら、学内カンファレンスを行います。それぞれの事例を持ちよって知識や体験を共有し、ディスカッションしながら学びを深めます。

1年次後期 (6単位) マタニティサイクル 助産ケア統合実習Ⅰ

後期の実習で、基礎実習で学んだ知識と技術をさらに深めます。

基礎実習で各期に分けて実習した内容について、統合実習では、出産期、産褥／新生児期における複数の対象者を継続して受け持つことで、基礎実習で学んだ助産の知識と技術を統合し、さらに家族を含めた対象理解から助産ケアの学びを深めます。

継続実習で一事例を継続的・総合的に理解し、助産ケアを実践する能力を養います。

統合実習では、妊娠から出産、入院中の産褥・新生児ケア、家庭訪問、産後1カ月までの継続実習も行います。対象を継続的・総合的に理解し、助産ケアを実践する能力を養うとともに、助産師の役割や専門職業人としての倫理観について統合的に学びます。

2年次前期 (6単位) マタニティサイクル 独立助産実習

開業助産所で「自然なお産」を学びます。

助産所の助産師の持つ卓越した助産技術をはじめ、妊婦さんと深く関わりながら「自然なお産」について実践的に学びます。妊娠から出産、産褥までを連続したプロセスとしてとらえ、身体の自然な力や個性を大切に助産ケアを学ぶ実習です。

6週間泊まり込むことで「助産所のリアル」が見えてきます。

的確な判断力やリスクマネジメント(緊急時の医療との連携など)、優れた観察力が必要となる助産所での仕事を間近で見て、助産師の独立性、自律性、専門職としての倫理的責任などについて考察します。開業助産所の管理・運営・経営、さらに地域貢献にいたるまで、総合的に学びます。

2年次後期 (2単位) マタニティサイクル 助産ケア統合実習Ⅱ

母子の「複数受け持ち」で、これまでの学びを統合します。

1対1だったこれまでの実習とは違い、一度に複数の母子を受け持ちます。それにより生じる複雑な状況下において、優先順位を考えながら個別性に即した適切な助産ケアをする能力を養います。これまで学んできたことのすべてを統合しながら自ら判断し、実践する最後の実習です。

臨床現場における自分の役割を考えます。

助産チームのリーダーに付いてチーム内の業務を円滑に進める「リーダー役割」を学ぶ一方、チームの「メンバー役割」についても考えます。また、カンファレンスなどの連絡業務、記録の大切さを理解し、職業人となる前に自らの課題を明らかにします。

実習施設(2019・2020年度)

病院

- 天使病院(札幌市)
- 札幌東豊病院(札幌市)
- 札幌産科婦人科病院(札幌市)
- 白石産科婦人科病院(札幌市)
- 市立札幌病院(札幌市)
- 手稲深仁会病院(札幌市)
- 砂川市立病院(砂川市)
- 帯広厚生病院(帯広市)
- 帯広協会病院(帯広市)
- 日鋼記念病院(室蘭市)
- 釧路赤十字病院(釧路市)

助産所

- みやした助産院(神奈川県)
- 山本助産院(神奈川県)
- 助産院さくらバース(神奈川県)
- とわ助産院(神奈川県)
- バースあおば(神奈川県)
- ファン助産院(東京都)

その他

- 札幌市子育て支援総合センター(札幌市)
- 札幌市東区保育・子育て支援総合センター「ちあふる・ひがし」(札幌市)
- 北星学園女子中学高等学校(札幌市)

発展・展開科目

専門職大学院ならではの充実した実習内容。
豊富な臨床経験と、それをフィードバックする学びの場が自律した助産師を育てます。

子育て支援

子育ての実際を見て、助産師にできることを考える。
妊娠から関わった母子を継続的に支援します。

1年次に妊娠から産後1カ月まで関わった母子を10カ月経ってから訪ね、実際に子育てをしてみて感じた悩みや喜びについて話を聞き、助産師の子育て支援における役割について考察します。妊娠から子育て期間まで継続して関われるのは、2年間のカリキュラムならではの。長期間にわたってより深く相手を理解することで、出産後の継続した支援が効果的に行えます。また、子育て支援センターの活動に参加し、行政や多職種との連携についても学びます。



性教育

中高生への性教育授業を自分たちで企画する。
「教える」ことを学ぶ中から、たくさんの発見があります。

中学生、高校生、それぞれの年齢に合わせて内容をコーディネートしながら、自分たちで企画・立案した性教育授業を行います。思春期の特徴的な考え方や行動、価値観を理解した上でニーズに合った情報を「ピアカウンセリング(同じ立場の者同士のカウンセリング)」の手法を用いて提供します。助産師としてのちと性に対する問題にどう関わっていくかを、授業づくりを通して考えを深めます。



ウィメンズヘルス

現代女性が直面しているさまざまな問題。
その性と心の事象について幅広く学びます。

出生前診断や不妊治療、ドメスティック・バイオレンス、思春期や更年期特有のメンタルヘルス。女性が生涯で直面するさまざまな性と心の問題について、幅広く学びながら理解を深めます。不妊に悩む女性のための情報室に参加したり、更年期や思春期の治療を行う外来での関わりを学ぶ機会があります。それぞれの問題を身近なこととしてとらえ、助産ケアについて考える科目です。

婦人科外来での実習

婦人科での診察や治療を見学する実習があります。周産期以外の女性の悩みを聞く機会や、漢方薬処方や鍼灸など東洋医学に基づく治療などを実際に見る機会をとおして治療やケアへの理解を深めます。

国家試験に直結する講義

生殖医療・不妊治療、DV(ドメスティック・バイオレンス)支援、マタニティブルーや産後うつなどの婦人科領域の心身症、避妊相談など、国家試験でよく出題される項目についてより詳細に学ぶことができます。

国際助産

海外での助産の現状や
母子保健活動について学びます。

開発途上国をはじめ海外の母子保健活動の状況や国際機関の関わり、日本の国際援助など海外のお産や健康問題について学びます。またその一環として2018年度は、マダガスカルのアベマリア産院で実習を行い、2019年度はベトナム・ハノイで、現地で行われている母子ケアについて理解することで、その特殊性や日本との違いについて考察しました。



修了生インタビュー

各地で活躍する修了生が“天使だからこそ学べたこと”を語ってくれました。



一人ひとりの対象者に丁寧に関わること。
助産師は黒子であり、主役はお母さん自身であること。
その学びが、現在に役立っていると感じます。

札幌東豊病院 勤務(助産師)
助産研究科 助産基礎分野 2012年3月修了

中学生の頃、助産師という職業をテレビ番組で知り、目指そうと決めたのは大学の看護学科で母性看護学の実習に行ったときです。国家試験のための勉強だけでなく、基礎はもちろん、発展・展開科目や助産院実習など、幅広く学べることから、天使大学大学院助産研究科に進学しました。

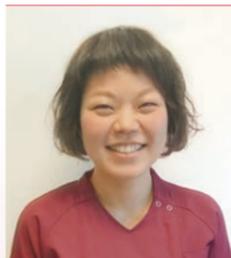
2年間で一番印象に残っているのは、やはり6週間の助産院実習です。そんなに長い実習は、他校にはない特徴ではないでしょうか。妊娠中から産後までの長期間、一人のお母さんに丁寧に関わることの大切さを学ぶことができました。現在勤務する病院では並行して複数の妊産婦さんをケアするので、助産院のように一人につききりというわけにはいかず、ジレンマを感じることはあります。ただ単に相手に寄り添うというだけではなく、チームで相談し、交代しながらお産を考えていくので、そこも難しい部分ではあります。

入職して4年間で150人以上の赤ちゃんを取り上げましたが、やはり1年目のお産が思い出深いです。私自身も緊張の毎日で、お母さん達と話すだけでも緊張していたくらいでした。産後のお母さんから「一生懸命に関わってくれたことがすごうれしかった」と書かれたお手紙をいただいたときは、その感激や初心を忘れてはいけななと思いました。現在は

切迫流早産や妊娠合併症妊婦のケア、分娩介助、産後の褥婦や新生児のケア、婦人科の手術患者のケア、一般新生児や入院対象の新生児のケアも担当するようになりました。担当したお母さんが元気な赤ちゃんを産み、かわいがる姿や、授乳に苦労していた母子が壁を乗り越えていく姿を見ると、やりがいを感じます。

助産研究科での学びでは、「助産師は黒子で、裏方である」という教えも役立っています。赤ちゃんを取り上げるのは助産師だと思われがちですが、がんばるのはお母さん自身であることを助産師は忘れてはいけません。けれども、“やってもら感”が強く、全部教えてほしいというお母さんもかなり増えています。それまで赤ちゃんに触れた体験もない中で、あくまでも「自分がお産をする」という気持ちになってくれること、自分でがんばろうと思うこと、同時に退院後の生活や育児体制まで考えてくれることが大事なので、今後もっとそのように導いていけるようにしたいと思っています。

当院では近年、無痛分娩に力を入れています。希望する方のためのケアをどどん学んでいきたいというのが当面の目標です。助産研究科の同期が無痛分娩が多い病院で働いているので、話を聞かせてもらったりもします。



子育て支援、性教育など、多岐にわたる役割を学び、
助産師としての可能性を広げてくれるのが大学院。
修了生はさまざまな分野で活躍しています。

札幌白石産科婦人科病院 勤務(助産師)
助産研究科 助産基礎分野 2006年3月修了

元子どもと関わる仕事に就きたいと思い最初は小児科志望でしたが、大学時代の実習をとおして母子の支えになりたいと助産研究科に進みました。

2年間の学びでは、病院実習も一つひとつ身になりましたが、やはり6週間の助産院実習のインパクトが大きく目から鱗が落ちる経験がいろいろありました。妊婦さんのお腹をさわるだけで赤ちゃんの体重がわかったり、透けて見えているのではと思うほど骨盤の状態を的確に診断したり、五感を使って診る助産師さんのスキルはまるで魔法のようでした。自宅出産に同行し、昔なら当たり前だった“生活の中で起きているお産”の介助も経験させていただき「出産って自然なことなんだな」と改めて実感することができました。

その実習体験があったので、5年前に自分自身が出産するときも助産院を選択しました。医療介入が最小限なので陣痛促進剤も使えず、48時間もかかった辛いお産で想像を絶する痛みにも何度も泣きました。それによって身を持ってわかったのは、「助産師というのは、そばにいてだけでこんなに安心させてくれる存在なんだ」ということです。マッサージや声がけも大切ですが、助産師は黙って寄り添うだけで産婦さんの大きな

支えになっているのです。

私は総合病院で5年半、ハイリスク助産なども経験した後、現在の病院に勤めて丸7年になります。最初は数値を頼りに動く感じでしたが、今は産婦さんの声の出し方、体の力み方がこう変化したからこうだと少しずつ感じ取れるようになってきました。もっとたくさんのお産に関わらせてもらうことで、五感を駆使した助産を深めていきたいと思っています。昨年は初めて、天使大学大学院生の実習指導にも関わらせていただきましたが、後輩たちにも五感の大切さを伝えるよう心がけました。

最もうれしく、やりがいを感じるのは陣痛や帝王切開を乗り越え、やっとの思いでお母さんが出産できて「産めたねー!」と一緒に喜びを分かち合うときです。生まれた瞬間に母親の顔になるのが何とも素敵ですし、その場で支えることができる仕事はこの職業以外にないなと思います。

ベビーマッサージの資格を持っているので、院内のクラスで指導しつつ、お母さんたちの育児相談も聞いています。クラス運営を行うことが好きで今後は、母親学級や性教育に力を入れたいと思っていますので、今の立場でどんな子育てケアが可能なのかをもっと勉強し、お母さんたちに還元していきたいです。



助産師として自律した判断力、観察力を身に付けたい。
いつかは医療設備の少ない海外や、助産院で通用する
助産師として、女性と赤ちゃんのために働きたいです。

社会福祉法人聖母会 聖母病院 勤務(助産師)
助産研究科 助産基礎分野 2014年3月修了

大学入学前から漠然と「海外で看護師として働きたい」と思っていました。天使大学ではフィリピン支援サークルの現地スタディツアーに2年連続で参加し、海外への思いがさらに高まったので先生に相談したところ、助産師資格もあると活動の幅が広がるとアドバイスされ、助産研究科に進みました。

実践、実習科目がとて多2年間でしたが、特に6週間の助産院実習では先生にぴったり密着して学ぶことができました。妊婦さんのおなかに直接ふれて赤ちゃんの向きや大きさを判断したり、起こりうる異常を予測したり、五感を使って早めに判断し、ケアをする姿を目の前で学んだことが、助産師としての私の土台になっていると思います。

また、国際助産の実習ではマダガスカルに行き、現地の助産師さんたちの五感の鋭さに驚かされました。限られた医療機器しかない中、海外で働くことの厳しい現実も知って、まずは日本で一人前の助産師にならなければいけないと決意しました。今はその経験を積んでいるところです。

勤務先の病院では1年目から計画的にローテーションで配属され、外来、分娩室、産後ケア病棟、新生児室と、ひと通り経験させていただきました。



6年目で念願の助産院に就職できたのは、
実習で受け持ったお母さんが見つないでくれた縁のおかげです。
「お産」と「おっぱい」の2本柱を日々学んでいます。

みやした助産院 勤務(助産師)
助産研究科 助産基礎分野 2014年3月修了

天使大学大学院の2年間で一番学んで良かったと思うのは、やはり助産院での実習です。泊まり込みで学ぶ毎日がとても楽しくて、6週間が短く感じたほどでした。一人ひとりと深く関わる形が自分に合っていると実感できたので、キャリアの最後は助産院で働きたいと思うようになりました。

大学院修了後は地元福岡に戻り、総合病院の産科病棟に5年間勤めて一度離職し、リフレッシュと英語学習を兼ねてオーストラリアで暮らしてみました。そこである日、実習先だった助産院の院長から久しぶりに連絡があり、私が実習で一生懸命関わらせていただいたお母さんが3人目のお子さん妊娠し、また来院されていると教えていただきました。そんな近況報告のやりとりをするうちに帰国後の就職先として誘ってくださり、2020年8月から勤務しています。こんなに早く、念願の助産院で働けるとは夢にも思いませんでした。実習で出会ったお母さんが縁をつなげてくださったと思いますし、そのお母さんが私の助産院での受け持ち産婦さん第一号になりました。

専門職大学院は決してラクではないけれど、学びが多様で充実していて、自分の核となる部分を育ててくれる2年間だったと思います。経験豊かなさまざまな先生方の講義を受ける中で、お母さんが必要とする

今は分娩室と、切迫早産などの異常に傾きそうな妊婦さんと、産後の母乳ケアを主に担当しています。やはり赤ちゃんが生まれた瞬間、夫婦二人から、赤ちゃんを含めた家族が出来上がっていく瞬間に立ち会うと、毎回、深く感動します。また、若年の妊婦さんが徐々に自分の体を大事にできるようになり、出産後はすっかりお母さんの顔になる、そんなプロセスを見るときもやりがいを感じます。

天使大学大学院助産研究科で私は国際助産を第一線の教授から学び、仲間と多くのディスカッションをしてきました。現在でも休日は海外の母子保健の現状など学ぶ機会があります。助産師として幅広い視野を持ち働くこと、その考え方の基本が、他の学校出身の同僚と違うことだと感じます。

現在の勤務先は、多くの分娩経験を積めることや、患者さんの2割が外国籍ということに魅力を感じて決めました。今は自律して判断やケアができる助産師を目指して修行中です。海外や助産院での自律したケアなど興味のある分野に目を向けて、しっかりと実力をつけていきたいと思っています。一人ひとりの女性にじっくりと関わり、地域のお母さんの存在になっていきたいと思っています。

きにすっと手を差し伸べる、そのように寄り添う存在が助産師なのだと学び、自分の助産師像が明確になりました。私は院生時代、実習記録の作成が何しろ苦手で、辛かったときもありましたが、同級生や先生方に助けられてなんとか提出していました。振り返ってみると、楽しいことも辛いことも同じ夢を持った仲間と一緒に分かち合えた、本当にかげのない時間だったと思います。

助産院ではお母さんと赤ちゃんとそのご家族に正面から向き合えるので、一緒にがんばり、一緒に喜ぶという感覚が強いです。その方の背景や家族関係、どういう気持ちで妊娠、出産、育児を行っていくのかを知り、一緒にがんばっています。母と子と家族の笑顔を見ると、本当に心から「良かったね、嬉しいね」と喜びを共有でき、やりがいを感じます。

学ぶことばかりの日々の中、できていないと再認識したのが授乳の支援です。お母さんはおっぱいが痛かったり出なかったり、赤ちゃんもうまく吸えなかったり、理想と現実のギャップに悩むお母さん達は多く、もっと助けられるようにしたいと思っています。お産とおっぱいの2本柱をしっかりできるようにしたい。それが今の目標です。

就職・国家試験

就職率

国家試験合格率(助産師)

2019年度 100%
2020年度 100%

2019年度 13人 100%
(全国合格率99.4%)
2020年度 19人 100%
(全国合格率99.6%)

就職先(2019・2020年度)

| | | | |
|-----|---|----|---|
| 北海道 | <ul style="list-style-type: none"> ●北海道大学病院 ●札幌医科大学附属病院 ●旭川医科大学病院 ●市立札幌病院 ●JCHO北海道病院 ●市立千歳市民病院 ●砂川市立病院 ●天使病院 ●札幌白石産科婦人科病院 ●札幌徳洲会病院 ●勤医協札幌病院 ●旭川厚生病院 | 東北 | <ul style="list-style-type: none"> ●仙台赤十字病院(宮城県) |
| | | 関東 | <ul style="list-style-type: none"> ●聖母病院(東京都) ●東京大学医学部附属病院(東京都) ●賛育会病院(東京都) ●湘南藤沢徳洲会病院(神奈川県) ●済生会横浜市東部病院(神奈川県) ●筑波大学附属病院(茨城県) |
| | | 近畿 | <ul style="list-style-type: none"> ●奈良県立医科大学附属病院(奈良県) |
| | | 九州 | <ul style="list-style-type: none"> ●聖マリア病院(福岡県) |

人間性豊かな助産師を育てる。
その能力を備えた
教育・指導者を育成する。

助産 教育分野

〈修業年限〉1年6カ月
〈入学定員〉10名
〈学位〉助産修士(専門職)
〈修了に要する単位〉45単位

5年以上の臨床経験を持つ助産師を対象に、自らの助産学と助産実践を再点検し、助産教育者に必要な教育計画の立案、授業や臨床指導の理論などの学修ならびに教授・臨床指導実習を通して、教育・指導の基本的な能力を養うことを目的としています。



4つの特長

1 後進の助産師を教育・指導する大切な役割を果たす力を育成

助産教育分野では、自らの助産観と助産実践を再確認するとともに「助産・看護教育科目」を12科目設け、助産師教育の専門家に必要な「助産師育成のためのカリキュラムの作成」や「学習・評価の理論」、「授業・臨床指導の演習・実習」などを体系的に学び、後進の助産師を教育・指導する能力を養成します。修了生は、「助産修士(専門職)」の学位を持つ助産師教育の専門家として、臨床現場や助産師養成施設で活躍しています。

2 助産基礎分野大学院生との関わりが生きた教材に

助産基礎分野大学院生と合同の授業があり、院生学習室で日常的に接する環境にあるため、助産学生が学内でどのように学び、どのような気持ちで実習に臨むかを知ることができます。また、助産基礎分野大学院生からの質問や相談も多く、助産教育のスキルを上げる実践的な機会となります。同時に助産の教員がどのような教育観を持って学生支援を行っているかを身近で学ぶこともできます。

3 「開業助産所」での実習

開業助産所での6単位の「独立助産実習」は、従来の助産師教育にはなかった実習です。改めて女性に寄り添い、女性の身体に備った自然な力を最大限に引き出し、助産師本来の仕事に向き合う経験を持って、後輩育成に臨みます。

4 「1年6カ月」で助産修士(専門職)の学位を取得

助産師としての実務経験を十分に積んだ方に対する教育課程のため、「1年6カ月」の期間で「助産修士(専門職)」の学位を取得することができます。助産教育のスキルを向上させた上で、通常の大学院よりも半年早く現場に戻れます。



デモンストレーション(マタニティサイクル助産ケアII)



デモンストレーション(マタニティサイクル助産ケアII)



分娩介助実習(総合実習I)



国際看護学



「教育概論」でのグループワーク

カリキュラム



なぜ「助産教育」という学びが必要なのでしょう

助産師として優れた技術を持っていれば良い助産師教育者であるのでしょうか。助産師教員は、助産師になることを志した後継者に、助産師に必要なとされる知と技(わざ)と心を、その一人ひとりの個性に合わせて教育をすることが求められています。そのため、助産師として十全な実践能力を持っていることは当然ですが、さらに教育職としての学びが必要です。卒業時に到達すべき能力を入学時から卒業時に向かって合理的に企画するカリキュラムの作成過程、教授学習の理論や評価の学び、

授業の立案や臨床指導の実習、教育機関の運営・管理など、助産師教員・臨床指導者のための教育課程を計画しました。専門職助産師の役割責務として後継者の育成を積極的に行い助産師の専門的能力の伝達・習得のための支援をすることがあげられています。臨床経験を積まれた助産師の方が、獲得された助産実践能力に教育能力を加えることによって助産専門職の質と量の向上に寄与することになるのではないのでしょうか。

天使学園理事・天使大学客員教授 近藤 潤子

実習展開

1年次後期
独立助産実習
 開業助産所において、妊娠初期を連続したプロセスとして捉え、身体の自然な力や個性を大切に助産ケアを学びます。開業助産師たちの実践をモデルとして、助産師の専門性や自律性について考察します。

2年次前期
助産教育(Classroom Teaching)実習
 特定の助産実践科目を選択し、カリキュラムを構築。その中の履修科目を選び、教科の内容と実施計画を作成する過程を学修します。教授学習法演習で作成した授業計画案による授業(教育実習)を行います。

臨床助産教育(Clinical Teaching)実習
 助産師教員による助産学習者の臨床指導に参加して、実習指導の現状を学修します。臨床指導事例の検討を通して、指導上の問題解決過程を学修します。

年次教育計画(2019年度実績)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|-----|---------------------|---------------------|------|----|----|---------|------|---------------------|-------------|------|---------------------|---------|-------|
| 1年次 | 入学式・オリエンテーション | 学内学習 (助産・看護教育科目) | | | | 補講・試験期間 | 夏期休暇 | 学内学習 (助産・看護教育科目) | 独立助産実習(6単位) | 冬期休暇 | 学内学習 (助産・看護教育科目) | 補講・試験期間 | 年次末休暇 |
| 2年次 | 学内学習 (助産・看護教育科目) | | 学内学習 | | | 夏期休暇 | 修了式 | | | | | | |

修了生インタビュー

助産師教育の場で活躍している修了生が「天使だからこそ学べたこと」を語ってくれました。

社会経験を経て学び直すからこそ、問題意識を持って研究できました。

亀田医療技術専門学校 助産学科 勤務(教員) 助産研究科 助産教育分野 2011年9月修了

天使大学大学院助産研究科を志望したのは、「大卒の新人を教育するには自分も大学経験があったほうがいい」「もっと知識を身に付けて医師と対等に話がしたい」と考えたからです。助産師として総合病院や診療所で14年勤めた頃でした。上司も「行きたいと思ったときにチャンス」と背中を押してくれたので、退職して千葉県から札幌に行きました。授業はどれも楽しく、1つの事象を多方面から考察することで、それまでの自分になかった見方ができるようになり、視野が大きく広がりました。「教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習」や「教育評価」は特に現場で役立つ科目で、学んだ者同士、共通の言葉で語れるようになりました。そして6週間の「独立助産実習」では、改めて基礎をしっかりと学び、エビデンスに基づいて実践すること、五感でケアすることの大切さを再認識できました。また、同級生や講師、実習先の方々など、新たな人脈ができたことも収穫でした。修了後は元の臨床現場に戻って6年勤めた後、お誘いを受けて教員になり、あっという間に1年が過ぎました。「教育は相互作用」と教わったので、上から教えるのではなく、学生と「お互いに学び合う」姿勢でいようと心がけています。現在、出産を取り巻く状況は大きく変化していて、ハイリスク出産や虐待の問題など、助産師のケアが必要とされる場面が増えているので、より良い助産師を育てるお手伝いができたらいいなと思っています。

就職

就職率

2019年度 **100%** 2020年度 **100%**

就職先(2019・2020年度)

| | |
|-----|-----------------------------|
| 北海道 | ●札幌白石産科婦人科病院 ●日本医療大学(教員) |
| 道外 | ●毛利助産院 |

2022年度 助産研究科 選抜概要

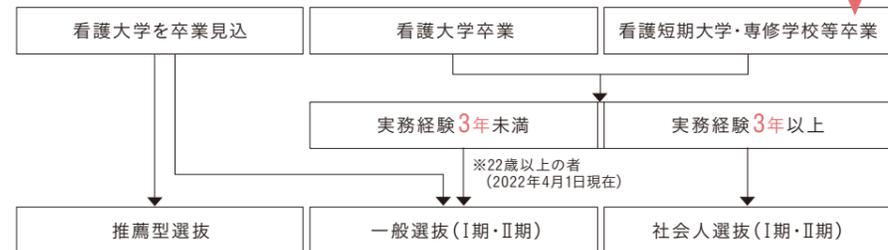
助産基礎分野

〈入学定員〉30名(女性) 〈修業年限〉2年

〈学位〉助産修士(専門職) 〈取得資格〉助産師国家試験受験資格

4大卒以外の方も
受験可能!

■出願資格と受験方法



■選抜日程

| 選抜種別 | 推薦型選抜 | I期(一般選抜・社会人選抜) | II期(一般選抜・社会人選抜) |
|-------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 出願期間 | 2021年8月23日(月)～9月3日(金)必着 | 2021年9月27日(月)～10月8日(金)必着 | 2022年1月11日(火)～1月13日(木)必着 |
| 選抜日 | 2021年9月18日(土) | 2021年10月16日(土) | 2022年1月22日(土) |
| 合格発表日 | 2021年9月27日(月)午前10時 | 2021年10月22日(金)午前10時 | 2022年1月28日(金)午前10時 |

■選抜概要

| 選抜種別 | 推薦型選抜 | 一般選抜 | | 社会人選抜 | |
|------|--------------------------|---|------------------|---------------------------|-----------------|
| | | I期試験 | II期試験 | I期試験 | II期試験 |
| 募集人員 | 10名 | 15名 I期社会人選抜含む | 5名 II期社会人選抜含む | 15名 I期一般選抜含む | 5名 II期一般選抜含む |
| 選抜内容 | 1.小論文試験(90分) 2.個人面接試験 | 1.学力試験 [専門科目(母性看護学領域)](90分) 2.小論文試験(90分) 3.個人面接試験 | | 1.小論文試験(120分) 2.個人面接試験 | |

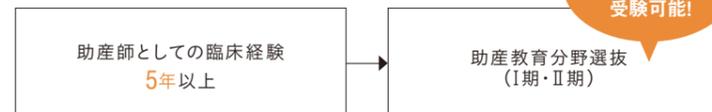
助産教育分野

〈入学定員〉10名 〈修業年限〉1年6カ月 〈学位〉助産修士(専門職)

■選抜概要

| | |
|------|---------------------------|
| 募集人員 | 10名 |
| 選抜内容 | 1.小論文試験(120分) 2.個人面接試験 |

■出願資格と受験方法



■選抜日程

| 選抜種別 | I期(一般選抜・社会人選抜) | II期(一般選抜・社会人選抜) |
|-------|--------------------------|--------------------------|
| 出願期間 | 2021年9月27日(月)～10月8日(金)必着 | 2022年1月11日(火)～1月13日(木)必着 |
| 選抜日 | 2021年10月16日(土) | 2022年1月22日(土) |
| 合格発表日 | 2021年10月22日(金)午前10時 | 2022年1月28日(金)午前10時 |

※上記の内容および選抜日程については、必ず入学選抜要項にてご確認ください。なお、新型コロナウイルス感染状況等によっては、内容を変更する場合があります。内容変更する場合には本学公式ホームページでお知らせします。

納入金

助産基礎分野(2022年度)

| 種別 | 内訳 | 入学手続時 | 後期 | 年額合計 |
|-------|------------|----------|----------|------------|
| 学納金 | 入学金 ※1 | 150,000円 | — | 150,000円 |
| | 授業料 | 600,000円 | 600,000円 | 1,200,000円 |
| | 施設設備費 | 100,000円 | 100,000円 | 200,000円 |
| | 実験実習費 | 50,000円 | 50,000円 | 100,000円 |
| | 小計 | 900,000円 | 750,000円 | 1,650,000円 |
| 委託徴収費 | 災害傷害保険料 ※3 | 7,000円 | — | 7,000円 |
| | 同窓会費 ※1 | — | 50,000円 | 50,000円 |
| | 小計 | 7,000円 | 50,000円 | 57,000円 |
| 合計 ※2 | | 907,000円 | 800,000円 | 1,707,000円 |

※1:初年度のみ納入です(2年次納入金は1,507,000円)。天使大学・天使女子短期大学卒業生は、入学金・同窓会費(後期納入分)を免除します。

※2:学納金・委託徴収費の年額合計を一括納入することができます。

※3:災害傷害保険(日本看護学校協議会共済会の共済制度「Will」)への加入を義務付けています。

助産教育分野(2022年度)

| 種別 | 内訳 | 1年次 | | 2年次 | 合計 |
|-------|------------|----------|----------|----------|------------|
| | | 入学手続時 | 後期 | | |
| 学納金 | 入学金 ※3 | 150,000円 | — | — | 150,000円 |
| | 授業料 | 600,000円 | 600,000円 | 600,000円 | 1,800,000円 |
| | 施設設備費 | 100,000円 | 100,000円 | 100,000円 | 300,000円 |
| | 実験実習費 | 50,000円 | 50,000円 | 50,000円 | 150,000円 |
| | 小計 | 900,000円 | 750,000円 | 750,000円 | 2,400,000円 |
| 委託徴収費 | 災害傷害保険料 ※2 | 7,000円 | — | 7,000円 | 14,000円 |
| | 同窓会費 ※3 | — | 50,000円 | — | 50,000円 |
| | 小計 | 7,000円 | 50,000円 | 7,000円 | 64,000円 |
| 合計 ※1 | | 907,000円 | 800,000円 | 757,000円 | 2,464,000円 |

※1:学納金・委託徴収費の年額合計を一括納入することができます。

※2:災害傷害保険(日本看護学校協議会共済会の共済制度「Will」)への加入を義務付けています。

※3:天使大学・天使女子短期大学卒業生は、入学金・同窓会費(後期納入分)を免除します。

【職業を有している方へ】助産研究科では実習等の関係から、現在、就業している方の入学後の就業継続はできません。

【学外実習の経費について】学外実習に伴い宿泊を必要とする場合、宿泊費は助産研究科で負担します(交通費や食費などは、学生負担)。

奨学金(2021年度実績)

| 奨学金 | 月額/年額 | 金額 | 備考 | |
|---------------|-------|-------------------|---|-----------------|
| 日本学生支援機構奨学金 | 第一種 | 月額 | 50,000円または88,000円 | 無利子貸与 |
| | 第二種 | 月額 | 50,000円/80,000円/100,000円 130,000円/150,000円 | 有利子貸与(利率は年3%以内) |
| 天使大学同窓会給付奨学金 | 年額 | 100,000円 | 経済的に非常に困窮し、成績優秀な者に対し給付 | |
| 天使大学貸与奨学金 | 月額 | 30,000円または50,000円 | 無利子貸与 経済的に修学が困難な者に対し貸与 | |
| 日本助産師会奨学金 | 年額 | 600,000円 | 無利子貸与 | |
| 北海道看護職員養成修学資金 | 月額 | 36,000円 | 無利子貸与 道内の病院その他の施設において助産師として5年以上勤務した場合返還免除 | |

※上記の他にも、地方自治体や病院、各種団体等の奨学金があります。各自で出身地の都道府県や市町村の教育委員会、病院等にお問い合わせください。

※奨学金に関する詳細は、学務課(学生担当)までお問い合わせください。Tel:011-792-9204。